

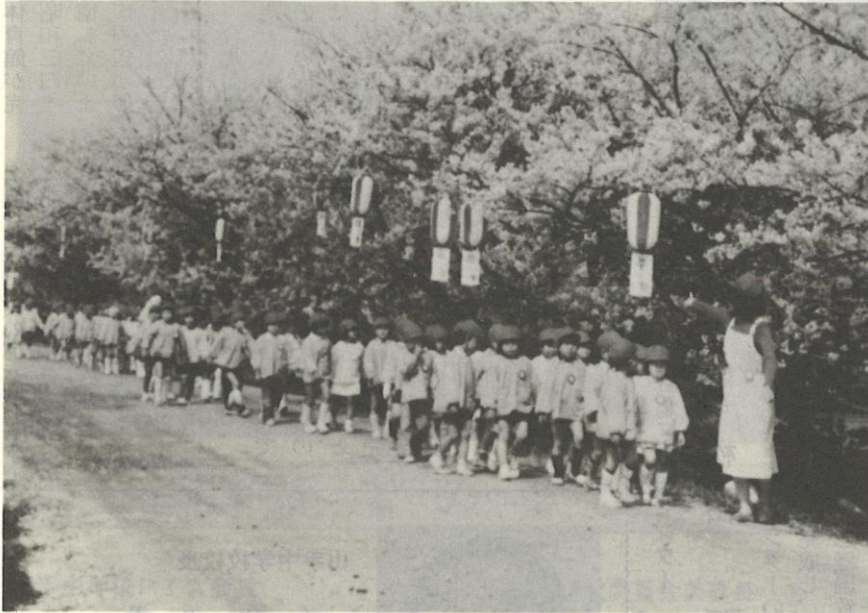
海蔵堤 の 桜

今年ももうすぐ開花の季節 去年の苦い思いを教訓に!!

急激に増えた見物人

寒さが去ると、桜の季節がやってきます。古くから、常に日本人には桜に親しむ心があり、それは今日でも変わりがない様に思われます。

想像のつかない状態でした。昨年ほど寒さが厳しく、かつ長かったため、じつと家の中にいたのが、暖かくなったら急に外に出たくなったという人々の冬の解放感が大きく作用したことは確かでしょうし、また最近、堤防や河川敷が整備され、北勢地方では、極めて交通の便の良



昨年大迷惑の桜堤沿い……

桜の名所となった海蔵堤。地区民はもとより、市民の心なごませる場であって欲しいという願いも、昨年は完全に打ち砕かれる結果となってしまいました。

人、人の波、堤防上も河川敷も、ゴザを敷いての大宴会……。自前のコンロでバーベキュー、酒・ビールにボリュームいっぱいのカラオケ……。遅くまで延々と続きます。

この間、人ごみの中へ車は入ってくる、近所の民家へはトイレや電話を借りに、入れ替り、立ち替りやつてくる。ひどい時には、寝入ってからでも玄関のブザーを押し続ける有様でした。

明ければ、一面ビンヤカン、食べ残しの箱や紙くずの野。もう、ここまでくると、桜

など、桜並木の保存にご尽力下さった海蔵堤保勝会の皆さん方がいらしたからこそ、今日の姿があることは、言うまでもありませんが……。

の風情を楽しむなどは全く別の世界であると言えましよう。花見客のマナーの悪さに近隣の方々は我慢の限界を越えてしまったことは、想像するに難くありません。連日、

公衆電話やトイレの設置など

保勝会では、桜の木を全部切り倒せという極端なまでの声を耳にしつつ、そしてまた会員自身見物人のマナーの悪さに怒り、落胆しつつも、やはり桜並木は大切に保存してゆこうと決意されました。

以来、何回となく会議を持ち、協議してこられた結果、本年は当面、次の様にしています。一、トイレを二ヶ所設置する。二、臨時公衆電話を二ヶ所設置する。三、車輛の進入規制をすることと、駐車場を指定する。四、夜十時に終了し、以後自粛を呼びかける。五、市の広報に掲載して、見物人のマナーの向上を訴え



保勝会の世話役の方々や、自治会役員さんに苦情が寄せられたことがその実情を如実に物語っています。

最終方針は、関係方面と協議して、二月中には決定される予定です。

保勝会会長の富永正済さんは、「決してこれで全てが解決するとは思っていません。今は、美しい花を咲かせ、大勢の皆さんに楽しんで戴きたいという気持ちと、昨年の様に、ご近所に迷惑をお掛けはしまいか……という期待と不安が交錯しているのが現実です」と謙虚に話していらつしやいます。どうか海蔵地区の皆様のお暖かいご理解をお願い致します。

